



福島医発第 1103 号 (総)
令和元年 7 月 18 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻一良
(公印省略)

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業について

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業につきまして、この度、新たに 1 件の情報について判定が行われた旨、日本医師会より別添のとおり報告がありましたので、過去の事例の判定結果と併せてお知らせいたします。

日本医師会では、患者さんからの相談や日常の診療から知り得た健康食品による健康被害に関する情報を会員からご提供いただき、日本医師会において審議し対応策をまとめて還元し、診療にお役立て頂くとともに、国民に対する周知・啓発活動が行われております。

つきましては、健康食品による健康被害と疑われる同様の事例の発生等がありましたら、日本医師会地域医療課 (TEL 03-3942-6137 FAX 03-3946-2140) まで情報提供いただきますよう会員への周知方ご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、健康食品安全情報システム」の内容や判定結果は、日本医師会ホームページメンバーズルームにも掲載されておりますことを申し添えます。

小郡三井医師会より

医療安全管理担当理事 吉武靖博
会長 島田昇二郎

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業 事例一覧(令和元年6月13日現在)

- 1)この判定結果は、当該食品と健康被害との因果関係を断定するものではありません。
 2)判定は、各情報(受付番号)ごとに行います。各情報中の個々の成分について行うものではありません。
 3)用語の改訂を行い、20170003より反映されております。改定された用語は括弧で区別しております。

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の 関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・ 転帰	委員会による判定	
										判定実施日	判定結果
東京都	20190003	2019/5/8	2.女性	40代前半	ハチ花粉(スペイン原産)。花粉の種類はワイルドフラワー(シス タス、ヒナゲシ、オオバコ、ユーカリ、ラベンダー等)	舐めてから5分程でヒューヒューと息苦しくなり、吐き出したら30 分~1時間程で元に戻った。	3.(関連性が 否定できない)	2.(軽微)	1.(回復)	2019/6/13	レベル4 (注意喚起)
熊本県	20190002	2019/3/18	2.女性	70代前半	にんにく、卵黄	術中の易出血性、術後のドレーン刺入部付近の血腫	3.(関連性が 否定できない)	3.(中等度)	2.(軽快・寛 解)	2019/3/22	レベル2 (要観察)
神奈川県	20190001	2019/2/13	2.女性	60代前半	ロイシンを主とするアミノ酸、甘味料、ビタミンD他	肝機能障害	3.(関連性が 否定できない)	3.(中等度)	1.(回復)	2019/3/22	レベル2 (要観察)
埼玉県	20180003	2018/12/12	2.女性	70代前半	ブエラリア・ミリフィカ他	不正性器出血	5.(医学的に強く推 定)	2.(軽微)	1.(回復)	2019/3/22	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20180002	2018/8/17	2.女性	70代前半	サジー、ステビア	掻痒	4.(医学的に推定)	1.(その他)	1.(回復)	2018/12/21	レベル1 (要保存)
愛知県	20180001	2018/4/28	2.女性	70代前半	ローヤルゼリー粉末(詳細確認中)	肩こり・歯肉痛・顔面神経麻痺	-	-	-	-	判定保留
神奈川県	20170005	2018/3/31	2.女性	70代後半	62種類の成分を含むとする健康食品3種類	高度脂肪肝	4.(医学的に推定)	4.(重篤)	2.(軽快・寛 解)	2018/5/31	レベル4 (注意喚起)
広島県	20170004	2018/1/18	2.女性	50代後半	※異物混入疑い(健康食品に甲状腺ホルモン混入疑い)	-	-	-	-	-	判定保留
埼玉県	20170003	2017/12/28	2.女性	60代前半	米酢・リンゴ酢・柿酢・梅酢	右胸部の異常知覚、右足の筋力低下(急速進行)。医大にて視 神経脊髄炎と診断	2.(不明)	4.(重篤)	2.(軽快・寛 解)	2018/3/8	レベル2 (要観察)
岡山県	20170002	2017/10/23	2.女性	80	グルコサミン	全身に2-3cm大の紅色斑の多発	4.医学的に推定	1.その他	1.回復	2018/3/8	レベル3 (要監視)
福岡県	20170001	2017/4/6	2.女性	74	ボルトジニユ(南米原産ハーブ・ネットモールの園芸店販売HPに て効能記載あり)	薬物性肝障害	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2017/6/15	レベル4 (注意喚起)
岩手県	20160004	2017/2/21	2.女性	65	蛭殻加工食品、アセロラ加工食品、植物濃縮物加工食品	肝機能悪化	2.不明	1.その他	1.回復	2017/6/15	レベル1 (要保存)
愛知県	20160003	2016/07/12	1.男性	34	靑黛(indigo naturalisなど)	大腸内視鏡で盲腸の異常血管増生像あり。症状はないが、他医 の報告と合わせて右側結腸炎と考える。	4.医学的に推定	4.重大な症状	3.未回復	2016/11/2	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20160002	2016/6/10	2.女性	48	プロテイン(人工甘味料・VC・亜鉛)、MSM、ヘム鉄、サブリン(ブ ラセンタ・CoQ10・エラスチン・コラーゲン・コンドロイチン)	アトピー性皮膚炎の悪化・急激な体重減少・米小麦アレルギー がないのに除去を行っている。	3.医学的に疑い	3.全身的症状	1.回復	2016/6/22	レベル4 (注意喚起)
東京都	20160001	2016/5/23	2.女性	26	アサイー、クエン酸(酸化防止剤)	腹部・背部の多形紅斑	3.医学的に疑い	3.全身的症状	1.回復	2016/6/22	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20150005	2016/02/20	2.女性	41	玄米胚芽・表皮、玄米、麹菌、貝カルシウム、スピリリナ 玄米胚芽・表皮、玄米、麹菌、貝カルシウム	湿疹、じんま疹、肝機能異常	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2016/5/10	レベル3 (要監視)
愛知県	20150004	2016/02/19	2.女性	69	大麦若葉末、ぶどう糖 ビルベリー・カシス・ルテイン・アスタキサンチン・メグスリノキ 野草	顔面、両手、両上肢、腹部、両下肢の紅斑、皮疹、そう痒	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2016/5/10	レベル4 (注意喚起)
東京都	20150003	2016/02/10	1.男性	56	台湾の花連産の黄金しじみ	ワーファリン服用中だが、2013年7月頃からPT-INRの値が不安 定となっており、ワーファリンの増量が急に必要となった。 半年前から当該商品を読み始めており、その影響が疑われたた め中止したところ、PT-INRの値は安定した。 製造販売業者に問い合わせたところ、当該商品2粒当たりVK (フィロキノン)を0.15μg含有しているとの回答あり。	4.医学的に推定	1.その他	1.回復	2016/5/10	レベル4 (注意喚起)

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・転帰	委員会による判定	
										判定実施日	判定結果
愛知県	20150002	2016/02/09	2.女性	67	黒酢		2.不明	未記入	5.その他	2016/04/06	不実施
石川県	20150001	2015/04/17	2.女性	65	麹菌培養エキス、パパイア、有胞子性乳酸菌	製品を飲んだところ、かゆみを伴った皮疹が両大腿部と上肢に出現、やめたら出なくなった。まさかと思い、再度飲んだところ再び皮疹が出現した。	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2015/4/23	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20140003	2014/12/19	2.女性	61	サメ軟骨抽出粉末(コンドロイチン・Ⅱ型コラーゲン含有)、グルコサミン(カニ・エビ由来)、セルロース、シヨ糖脂肪酸エステル、酵素処理ルチン、酸化ケイ素、光沢剤	顔面手足の紅斑、浮腫 全身のそう痒	4.医学的に推定	4.重大な症状	2.軽快	2015/4/23	レベル4 (注意喚起)
神奈川県	20140002	2014/12/16	2.女性	15	リボフラビン酪酸エステル(ビタミンB2酪酸エステル)、ピリドキシン塩酸塩、アスコリビン酸、L-システイン、ヨクイニンエキス、ニコチン酸アミド、ビオチン、添加物	発熱 MAX39.6℃	2.不明	1.その他	1.回復	2015/02/05	保留
広島県	20140001	2014/12/16	3.不明	61	オルチニン	11/14 特定健診でAST46,ALT71, γ-GTP178,HBsAG(-),HCV(-),アルコール歴なし、オルチニンを中止し、11/25 AST18,ALT17,γ-GTP82	2.不明	1.その他	1.回復	2015/02/05	レベル1 (要保存)
東京都	20130009	2014/1/20	2.女性	73	ロイヤルゼリー	大量腹水、黄疸(軽度)、急性肝不全(非昏睡型)、肝類洞閉塞症候群、肝生検未施行ですがエコーCT、MR施行。	無記入	4.重大な症状	3.未回復	2014/1/30	不実施
					グルコサミン						
					フルスルチアミン、ビタミンB6、ビタミンB12、ビタミンE						
					穀物麹						
					ごま酢						
					桑の葉						
					コエンザイムQ10						
					カルシウム						
未記入	20130008	2014/1/9	2.女性	90	うなぎ肝臓	H25/9/14 定期血液検査でγ-GT45と上昇あり。9/20受診時にサプリメント中止を指示していた。サプリメント内服開始(H25/6)～10月まで自覚、他覚症状は著変なし。11月体調不良で緊急入院となり、現在フィッシャー症候群として他院入院中のようです。	2.不明	3.全身的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル2 (要観察)
					ビタミン類						
					グルコサミン、軟骨軟抽出物、発酵コラーゲン分解物						
栃木県	20130007	2014/1/6	2.女性	67	ローズヒップ抽出物(ビタミンC1500mg バイオフラボノイド150mg)	2013年9月中旬より3種類のサプリメントを飲み始めた。10月中旬より左第2指、4指に腫脹や疼痛が出現した。症状が続いたため、10月下旬にサプリメントを中止したところ、軽快した。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル3 (要監視)
					ローズヒップ抽出物(マルチビタミン、ミネラル)						
					アスタキサンチン(海洋生物に存在する色素、カロテノイドの一種)、ビタミンE、ビタミンC)						
滋賀県	20130006	2013/11/15	2.女性	46	プロポリス、分離大豆たんぱく、果糖、アミノゲン、大豆油、亜鉛酵母、セレン酵母、アロエベラ、レシチン(大豆由来)、クロム酵母、ビール酵母、スピルリナ、イヌリン、リン酸Ca、香料、リン酸Na、ナイアシン、パントテン酸Ca、葉酸、ビタミン(A、B1、B2、B6、B12、C、D)、増粘剤(グァーガム)、甘味料(スクラロース、ステビア)	10/17よりサプリメント服用開始。10/31両掌皮膚炎があり中止。両掌指間、手掌に小水泡を認め、その後落屑、発赤、かゆみは少ない。	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル3 (要監視)
					アロエベラジェル、イソマルトオリゴ糖、レモン・ライム、クエン酸、酸化防止剤(VC、VE)						
愛知県	20130005	2013/10/03	2.女性	60	コエンザイムQ10	閉経後の不正出血、これまでに複数経験した報告ですから、上記身長体重などの数値は例です。	4.医学的に推定	1.その他	6.未記入	2014/1/30	不実施
熊本県	20130004	2013/10/15	2.女性	70	黒酢濃縮粉末	胃粘膜病変(黒酢によるとと思われる胃炎)	4.医学的に推定	2.局所的症状	6.未記入	2014/1/30	不実施
兵庫県	20130003	2013/09/24	2.女性	74	コエンザイムQ10	平成25年2月26日より、コエンザイムQ10を服用し始め、3月下旬より下痢が出現し、続くため、5月11日に血液検査を行ったところ、GOT452μ/L、GPT992μ/Lに異常高値を認め、同剤の服用中止を指示、同剤による肝障害と診断。	4.医学的に推定	1.その他	2.軽快	2013/10/31	レベル4 (注意喚起)

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の 関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・ 転帰	委員会による判定	
										判定実施日	判定結果
埼玉県	20130002	2013/09/16	3.不明	84	クマザサ	薬疹、手足(発赤、水泡を伴う疹多発)を中心に、顔、耳、体に発赤	3.医学的に疑い	3.全身的症状	2.軽快	2013/10/31	レベル4 (注意喚起)
					昆布						
					サンゴカルシウム						
					乳酸菌						
					サメ軟骨						
兵庫県	20130001	2013/09/13	2.女性	78	ビタミンB1, 2, 6	高カルシウム血症による歩行障害(血清カルシウム 12.6)	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2013/10/31	レベル4 (注意喚起)
					ヒアルロン酸含有鶏冠抽出物、ビタミンD						
					コラーゲンペプチド、乳糖、グルコサミン、セルロース、ショ糖エステル						
					9月14日に同健康食品を中止することにより、肝機能は改善された。						
					肝機能障害、下腿浮腫、GOT323 GPT319 γ-GTP243と上昇。						
東京都	20120004	2012/11/14	1.男性	84	DHA300mg、EPA100mg、セサミン10mg、その他	間質性肺炎(慢性)、労作時息切れ(平成24年8月頃から)	2.不明	1.その他	3.未回復	2012/11/14	レベル1 (要保存)
三重県	20120003	2012/11/09	2.女性	70	グルコサミン	1/26 GOT 18、GPT 15 7/11 GOT154 GPT 206急激な肝機能異常で問い合わせた。 7/23 GOT 257 GPT 265	3.医学的に疑い	3.全身的症状	1.回復	2012/11/14	レベル3 (要監視)
石川県	20120002	2012/08/06	2.女性	60	天然ハスカップエキス、ブドウ種子エキス、モロヘイヤ、ビタミン類	胆汁うっ滞型肝障害	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2012/11/14	レベル3 (要監視)
愛媛県	20120001	2012/10/31	2.女性	68	不明(一般的には、青汁は、ケール、大麦若葉ないし明日葉など)	平成17年頃から(顔以外)頭～体全体の発疹がでてかゆみがある。じんましん	2.不明	1.その他	2.軽快	2012/11/14	レベル1 (要保存)
愛媛県	20110006	2011/11/24	2.女性	48	還元麦芽糖水飴、難消化性デキストリン、大麦若葉粉末、ゴーヤー粉末、ケール末、ビタミンC、ビタミンB群、ナイアシン、葉酸、甘味料	全身のかゆみ	2.不明	1.その他	2.軽快	2011/12/01	レベル1 (要保存)
茨城県	20110005	2011/06/13	1.男性	50	クルクミン、秋ウコン末、春ウコン末	胃部不快、黄疸(T-Bil 24.72 D-Bil 17.91)、劇症肝炎(PT 34.2%)、AST1906 ALT2418	5.医学的検証済み	4.重大な症状	3.未回復	2011/09/29	レベル5(警告・禁止)
栃木県	20110004	2011/06/02	2.女性	62	アサイーエキス末、グレープシードオイル、オリーブ油、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル	2010年4月ごろよりアサイーを摂取した折、4月より肝機能の上昇あり。12月27日にはAST/ALT 45/81まで上昇した。3月22日診察時にアサイーの中止を勧め、中止したところ、徐々に肝機能の回復あり。ASTは正常、ALTは43まで低下した。この間、当院からの処方内容に変化ない。経過より、アサイーによる肝機能障害と診断した。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2011/09/29	レベル3 (要監視)
静岡県	20110003	2011/05/17	2.女性	67	グルコサミン塩酸塩、鮫軟骨抽出物、コラーゲン	尿所見:混濁、雲翳(nubecula)。摂取をやめたら正常に戻った。尿蛋白(++)、沈査(nubecula)クレアチン高め、現在は正常範囲。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2011/05/20	レベル3 (要監視)
福岡県	20110002	2011/04/26	2.女性	32	独自ブレンド、ゼラチン他 ボロン(トリボロンコンプレックス)、ライスフラワー、ゼラチン フェヌグreekシード、ゼラチン	毎年乳がん検診を受けて、昨年末まで異常なしであったのに、豊胸を効果にあげて販売されるサプリを服用したところ、右胸が痛くなり、6ヵ月後に6cm大の進行乳がんを診断を受けた。	2.不明	1.その他	3.未回復	2011/05/20	レベル3 (要監視)
愛知県	20110001	2011/04/11	1.男性	83	ヒアルロン酸	●●を2錠/日飲んだら(9/11～9/18)、新鮮血を下血した。水様体の下痢も認めた。	2.不明	2.局所症状	2.軽快	2011/05/20	レベル2 (要観察)
青森県	20100002	2010/10/29	1.男性	63	シャークリバーオイル他 ビルベリーエキス他	9月22日早朝より発熱(38度)と心窩部痛あり。当院受診にて診察、精査を施行。生化学検査で肝機能障害あり、内服薬及びサプリメントを中止させる。	3.医学的に疑い	3.全身的症状	2.軽快	2011/02/23	レベル3 (要監視)
福島県	20100001	2010/04/06	2.女性	61	茶	約3ヶ月間、内服を中止したことにより、血糖値の急激な上昇。 4ヶ月間受診なし。	1.関連なし	1.その他	6.未記入	2011/02/23	レベル1 (要保存)

日本医師会「食品安全に関する情報システム」モデル事業 事例一覧(平成18年度～21年度)

- 1)この判定結果は、当該食品と健康被害との因果関係を断定するものではありません。
2)判定は、各情報(受付番号)ごとに行います。各情報中の個々の成分について行うものではありません。
3)ご提供いただいた情報の中には医薬品に該当するものもありますが、検討の上、本モデル事業の対象とした事案があります。

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデンス	重症度	治療の経過・転帰	1次判定		2次判定	
										判定実施日	1次判定結果	判定実施日	2次判定結果
沖縄県	20090009	2010/03/03	2.女性	64	豚プラセンタ(胎盤)、αリポ酸、コエンザイムQ10、アスコルビン	肝障害	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2010/03/04	通常審議情報	2010/03/23	レベル2(要観察)
石川県	20090008	2010/01/05	2.女性	78	グルコサミン1200mg、サメ軟骨200mg、ケルセチン45mg	血中LDLコレステロール異常上昇	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2010/01/05	緊急審議情報	2010/03/01	レベル2(要観察)
青森県	20090007	2009/11/26	2.女性	69	ヒュウガトウキ(日本人参、Angelica furcijuga)ウコン	心窩部不快感と嘔気	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2009/11/26	緊急審議情報	2009/12/02	レベル4(注意喚起)
石川県	20090006	2009/10/06	2.女性	76	グルコサミン、麦芽糖、セルロース、ヒアルロン酸	9/9から1日3錠服用開始した。9/12に腹部、背部、腕、下肢に皮疹出現。9/14に服用中止したところ、9/18に皮疹が消失した。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	1.回復	2009/10/06	通常審議情報	2009/10/15	レベル3(要監視)
青森県	20090005	2009/07/06	2.女性	80	コンドロイチン さくら Fish Oil カルシウム	性器出血、子宮内膜肥厚	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2009/07/08	通常審議情報	2009/08/05	レベル4(注意喚起)
青森県	20090004	2009/06/17	2.女性	66	濃縮熟成ニンニク抽出液、ニンジンエキス、ゴウウチンキ、ロクジョウ流エキス、トシシエキス、イカリソウエキス	回転性のめまい、体のほてり、体重減少と共に血圧の変動を認めるようになった。	3.医学的に疑い	1.その他	2.軽快	2009/06/17	通常審議情報	2009/06/18	レベル4(注意喚起)
佐賀県	20090003	2009/3/9	2.女性	61	カニ甲殻、サメ軟骨、マメ科の植物(グルコサミン、コンドロイチン、ケルセチンプラス)	腕、両下腿、体全体の筋肉の衰えを自覚、ソワソワした不快感、体重減少(3kg)、足の震え	2.不明	3.全身的症状	2.軽快	2009/03/09	通常審議情報	2009/03/25	レベル3(要監視)
兵庫県	20090002	2009/01/27	1.男性	26	鉄分	健診目的で受診。肝機能障害(GOT50,GPT62,γ-GTP80)(2008.3.17 GOT24,GPT16,γ-GTP34)	2.不明	1.その他	2.軽快	2009/1/28	通常審議情報	2009/03/25	レベル2(要観察)
福島県	20090001	2009/01/07	2.女性	70	プロポリス、エタノール	市民健診で肝機能異常発見。 A. 肝機能異常発見以前(05～07年:生化学検査)GOT、GPT、γ-GTP、総コレ、TG、HDL、クレアチニン、血糖・Hb1c 各異常なし B. 肝機能異常発見日(08/10/10)末梢血・生化学検査末梢血:異常なし γ-GTP191IU/ℓ(0～35)、GOT41IU/ℓ(10～40)、GPT45IU/ℓ(5～45)、HDL、TG、LDL、クレアチニン各異常なし、血糖・Hb1c異常なし。 C. その後の検査結果(一部略) 08/10/29: GOT45、GPT55、γ-GTP90 08/12/05: GOT24、GPT23、γ-GTP90	2.不明	1.その他	2.軽快	2009/1/8	通常審議情報	2009/03/25	レベル2(要観察)
千葉県	20080011	2008/11/20	2.女性	62	西洋カボチャ種子、クランベリー	夜間の頻尿があり、人に勧められ「パンブキン」服用したところ、めまい発作を繰り返すようになり、同時に眠気を来している。中止すると軽快し、服用すると症状が出てくる。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2008/11/20	通常審議情報	2008/11/20	レベル3(要監視)
石川県	20080010	2008/11/04	2.女性	67	グルコサミン塩酸塩	血中LDLコレステロール上昇	3.医学的に疑い	1.その他	2.軽快	2008/11/10	通常審議情報	2008/11/20	レベル3(要監視)
熊本県	20080009	2008/10/16	2.女性	89	グリコーゲン、含硫アミノ酸、ビタミン・ミネラル類 イチョウ葉エキス コエンザイムQ10 黒酢、ニンニク	急性肝機能障害(全身倦怠感、胸痛)。 服用していた薬と食品を中止させ、点滴などの肝底療法を行って軽快した。	4.医学的に推定	4.重大な症状	2.軽快	2008/10/24	通常審議情報	2008/11/20	レベル4(注意喚起)

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・転帰	1次判定		2次判定	
										判定実施日	1次判定結果	判定実施日	2次判定結果
福岡県	20080008	2008/10/01	1.男性	43	マオウ、カンゾウ、レンギョウ、ダイオウ	<当該製品は医薬品> 平成12年2月22日、GOT26、GPT26、 γ -GTP61 8月30日、キッチンハイターの薄め液をコップ一杯誤って一 気に飲んだ。その後気分不良なし。PM4:30、会社健診で採 血、GOT92、GPT223、 γ -GTP688を指摘される。 9月初め、肝機能異常値の連絡があったので、以後禁酒し (従来酒2~3合/日)、ダイエット漢方薬も中止した。 9月25日、再検査時に来院。GOT33、GPT60、 γ -GTP209	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2008/10/01	通常審議情報	2008/10/01	レベル4(注意喚起)
青森県	20080007	2008/09/24	2.女性	75	鮭白子抽出物、鮭脳下垂体抽出物	最近家族より物忘れが強くなったと言われ、服用する。 服用により全身に発疹、中止すると改善する。 再び服用してから再び発疹を認める。	4.医学的に推定	3.全身的症状	1.回復	2008/09/24	通常審議情報	2008/10/01	レベル4(注意喚起)
福岡県	20080006	2008/09/22	1.男性	81	ウコン	H9.6 γ -GTP(289) H18.7 GOT(138)、GPT(184)、 γ -GTP(428)につき、●●病 院でHCV II 抗体陽性につき H19.2北九州の病院でインターフェロンなどの治療を受け たが、以後消息不明	1.関連なし	1.その他	6.未記入	2008/09/22	通常審議情報	2008/10/01	レベル1(保存)
沖縄県	20080005	2008/08/20	2.女性	63	乳酸菌生成エキス(死菌)	全身の紫斑(特に下肢)、凝固異常	2.不明	3.全身的症状	2.軽快	2008/08/20	通常審議情報	2008/10/01	レベル3(要監視)
沖縄県	20080004	2008/04/15	2.女性	48	黒酢	肝機能障害 GOT39 GPT61 ALP395 γ -GTP69に各々上 昇 服用中に黒酢のみ中止させたら全て正常化した。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2008/04/17	通常審議情報	2008/07/30	レベル3(要監視)
兵庫県	20080003	2008/03/04	2.女性	48	ダイオウ末、カノコソウ末、ケイヒ末、センキュウ末、ソ ウジュツ末、シャクヤク末、ブクリョウ末、トウキ末、コ ブシュ末、ゴシュユ、ハンゲ、ニンジン、コウカ	<当該製品は医薬品> たまたま行った検査で肝障害を発見。 2007年6月14日、肝機能高値発覚、直ちに「命の母」の服 用を止めさせ、プロヘパール2錠/日、ウルソを投与した。 以前の薬はそのまま継続、2ヵ月後にほぼ正常値に 回復した。	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2008/03/04	通常審議情報	2008/03/19	レベル4(注意喚起)
岡山県	20080002	2008/02/25	2.女性	29	コーンシルクエキス末、ラフィノース、還元パラチノー ス、小麦抽出物、大豆タンパク、褐藻エキス末、シルク ペプチド、ボスウエリアセラタ抽出物、ユッカエキス末、 マカ末、グルコマンナン、カカオエキス末、L-カルニチ ンL-酒石酸塩、マテ茶エキス末、カロベプチド、ブ ドウ種子エキス末、松樹皮エキス末、黒胡椒抽出物、ト ウガラシ末、L-グリシン、L-アルギニン、サイクロデ キストリン、クエン酸、カフェイン(抽出物)	軀幹の圧迫部(ブラジャー、下着)、関節部(腋窩、鼠蹊)に 丘疹多発、融合傾向、kobner現象あり。腰では疼痛様の 丘疹を生じている。痒疹を伴う。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2008/02/26	通常審議情報	2008/03/19	レベル3(要監視)
福岡県	20080001	2008/01/10	1.男性	72	生薬(センキュウ、モッコウ、シャクヤク、コウブシ、コウ カ(紅花)、丹参(タンジン))	じんま疹	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2008/01/10	通常審議情報	2008/01/30	レベル2(要観察)
岡山県	20070029	2007/12/26	2.女性	23	α リボ酸、コエンザイムQ10の合剤	低血糖症状、インスリン自己免疫症候群(α リボ酸によ る)。空腹時に手の震えなどの低血糖様症状が出現。	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2007/12/26	通常審議情報	2008/01/30	レベル5(警告・禁 止)
千葉県	20070028	2007/12/03	2.女性	56	エリスリトール、ローヤルゼリー、マカエキス、スクラ ロース、クエン酸	マカ・ゴールド・ロイヤルゼリーを服用して咽気・動悸の発 症、近医で急性胃炎と診断		3.全身的症状	2.軽快	2007/12/03	通常審議情報	2008/01/30	レベル1(保存)
千葉県	20070027	2007/12/03	2.女性	68	還元麦芽糖水飴 ビタミン ビタミン	市民健診時の肝障害、突然発症AST293、ALT383、 γ -G TP152		2.局所的症状	6.未記入	2007/12/03	通常審議情報	2008/01/30	レベル1(保存)
岡山県	20070026	2007/11/05	2.女性	41	酵母エキス、コエンザイムQ10、ハス胚芽抽出物、乾燥 ビール酵母	毛穴がつまり(脂肪?)同部に発疹を併発	3.医学的に疑い	2.局所的症状	1.回復	2007/11/05	通常審議情報	2007/11/30	レベル3(要監視)
青森県	20070025	2007/11/01	3.不明	73	軟膏 スピリリナ フラボノイド、イチヨウ葉エキス、松葉エキス、ホスファチ ジルセリン	特に症状なし。一般健診時肝機能異常を指摘、若干の易 疲労感あり	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2007/11/05	通常審議情報	2007/11/30	レベル4(注意喚起)
石川県	20070024	2007/09/15	2.女性	58	グルコサミン、コンドロイチン、MSM(メチルサルフォニルメ ソ)、ヒアルコラーゲン、ヒアルロン酸、ビタミンC スクアレン、アルコキシグリセロール、オメガ3脂肪酸、ビ タミンA、ビタミンE、ビタミンD	脂質コントロール悪化	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2007/09/19	通常審議情報	2007/11/30	レベル4(注意喚起)

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデンス	重症度	治療の経過・転帰	1次判定		2次判定	
										判定実施日	1次判定結果	判定実施日	2次判定結果
兵庫県	20070023	2007/08/21	3.不明	71	グルコサミン(カニ由来)、デビルズクローエキス、セルロース、ショ糖脂肪酸エステル EPA含有精製魚油、ゼラチン、グリセリン、酸化防止剤(ビタミンE) ササエキスパウダー(ササエキ、デキストリン)、セルロース、ショ糖脂肪酸エステル 大豆油、コエンザイムQ10、ビタミンE含有植物油、茶抽出物、ゼラチン、グリセリン、グリセリン脂肪酸エステル ギムネマ、プルラン 米胚芽油、紅コウジ末、サンフラワーオイル、ゼラチン、グリセリン、ミツロウ、レシチン ビルベリーエキス、ルテイン、カシス、ヒアルロン酸、コラーゲン、DHA、DNA、コエンザイムQ-10、イチョウ葉エキス、ラクトフェリン、β-カロテン、ビタミンC、ビタミンB2、β-カロテン、ビタミンB2、ビタミンB12、ビタミンE、コメ胚芽油、亜麻仁油、ブドウ種子油、大豆レシチン、スピリリナ、ブルーベリー、イースト マグネシウム、鉄 ビタミンB アルファルファ草 レシチン(大豆)、ゼラチン、グリセリン フラボン(クワシチン) 小麦胚芽油、ビタミンE含有植物油、ゼラチン、グリセリン カルシウム(ぼたて)、ブドウ糖、粉末レモン果汁、酵母、酸味料、ショ糖脂肪酸エステル、ビタミンK2、カゼイン、香料、ビタミンD サンフラワーオイル、カロチノイド[マリーゴールド抽出物、トマト抽出物、藻類抽出物(デュナリエラ)、パーム油抽出物、ニンジン抽出物]、プロコラーゲンエキス、グレープシードエキス、ゼラチン、ミツロウ、グリセリン スクワレン、セラミド含有小麦胚芽油、スターフルーツ葉抽出物、リンゴ抽出物、ハトムギ胚芽油、ビタミンE含有植物油、ゼラチン、グリセリン、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル、着色料(酸化チタン) フカヒレ軟骨抽出物、ボスウェリア抽出物、還元麦芽糖、大豆ペプチド、デキストリン、ショ糖脂肪酸エステル、どうもろこしたんぱく ブルーベリー 黒酢 グルコサミン	体幹、四肢にそう痒の強い紅斑と色素沈着、紅色丘疹も見られ乾燥傾向も強く、治療に抵抗。	3.医学的に疑い	3.全身的症状	2.軽快	2007/08/27	通常審議情報	2007/09/12	レベル3(要監視)
千葉県	20070022	2007/08/17	2.女性	60	黒酢 グルコサミン	定期採血時における突然の肝機能障害発症(AST189、ALT152、LDH317)	3.医学的に疑い	3.全身的症状	6.未記入	2007/08/23	通常審議情報	2007/09/12	レベル4(注意喚起)
兵庫県	20070021	2007/08/13	1.男性	64	ウコン	3月(H19)より他人よりウコン譲渡され、肝底腫瘍で服用開始。飲酒も続けていたが、6月上旬尿黄染増強し、6/22当院受診。受診時黄疸認め、著明な肝機能異常を認めた。「薬剤性肝障害(疑)」	4.医学的に推定	3.全身的症状	1.回復	2007/08/23	通常審議情報	2007/09/12	レベル4(注意喚起)
千葉県	20070020	2007/08/02	1.男性	48	グルコサミン、アセンヤク、オウゴン茎乾燥水製エキス、セルロース、ビタミンE、高級脂肪酸、二酸化ケイ素、ケルセチン、ルチン、ゼラチン	発熱、ぼーとする	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2007/08/23	通常審議情報	2007/09/12	レベル2(要観察)
千葉県	20070019	2007/08/02	1.男性	73	ハブ茶、ハトムギ、玄米、どくだみ、大豆、ウーロン茶、柿の葉、クマザサ	糖尿病などにて治療中、平成19年3月3日当院に転送している。家人のすすめにて「霧だみ茶」を服用しているが、服用後必ず下痢症状を覚醒する。	2.不明	1.その他	2.軽快	2007/08/22	通常審議情報	2007/09/12	レベル1(保存)
岡山県	20070018	2007/07/26	2.女性	55	クロレラエキス、クマザサエキス、田七人参抽出液、着色料、プロピレングリコール、保存料、pH調整剤	下痢(該当食品を摂取するたびに30分くらいして発症する)	2.不明	1.その他	1.回復	2007/07/27	通常審議情報	2007/09/12	レベル1(保存)
兵庫県	20070017	2007/06/14	2.女性	78	トルマリン(ケイ酸塩鉱物のグループ名)	血清鉄増加	3.医学的に疑い	4.重大な症状	1.回復	2007/06/14	通常審議情報	2007/09/12	レベル4(注意喚起)
石川県	20070016	2007/06/01	2.女性	65	玄米・胚芽・表皮、大豆、スピリリナ、茸抽出濃縮液(雲芝、舞茸、椎茸、冬虫夏草)、牡蠣殻カルシウム	目の周囲、頸部に皮疹(かゆみなし)	4.医学的に推定	2.局所的な症状	6.未記入	2007/06/01	通常審議情報	2007/06/13	レベル3(要監視)

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・転帰	1次判定		2次判定	
										判定実施日	1次判定結果	判定実施日	2次判定結果
石川県	20070015	2007/05/18	2.女性	80	玄米表皮、胚芽、大豆、玄米、スピルリナ、牡蠣殻カルシウム、麹菌	蕁麻疹	4.医学的に推定	2.局所的症状	6.未記入	2007/05/22	通常審議情報	2007/06/13	レベル3(要監視)
石川県	20070014	2007/04/24	2.女性	66	ピロリン酸第二鉄 サメヒレ軟骨エキス アガリクス	肝障害	4.医学的に推定	1.その他	1.回復	2007/04/24	通常審議情報	2007/06/13	レベル4(注意喚起)
青森県	20070013	2007/03/15	2.女性	58	ブエラリア・ミリフィカ	腹部びらん	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2007/03/15	通常審議情報	2007/03/28	レベル4(注意喚起)
青森県	20070012	2007/03/06	3.不明	34	ザクロ マカ	なし(服用後の不快感のみ、動悸)	2.不明	1.その他	1.回復	2007/03/06	通常審議情報	2007/03/28	レベル1(保存)
沖縄県	20070011	2007/02/28	1.男性	62	ノニ(ヤエヤマアオキより抽出)	急性肝炎(めまい、食思不振、意識混濁)	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2007/02/28	通常審議情報	2007/03/28	レベル4(注意喚起)
長崎県	20070010	2007/02/27	2.女性	55	寒天、黒酢、アルファリボ酸	じんましん様発疹、皮膚かゆ痒	3.医学的に疑い	1.その他	2.軽快	2007/02/28	通常審議情報	2007/03/28	レベル3(要監視)
岡山県	20070009	2007/02/09	2.女性	69	プロポリス ビタミンC 大葉若葉粉末、桑の葉粉末、赤松葉粉末、トウモロコシ ローヤルゼリー アミノ酸 ヒアルロン酸 α-リポ酸 DHA(ドコサヘキサエン酸) マツ 田七人参、鯉内臓濃縮末、鮑貝殻エキス末、エビス草種子エキス末、菊花エキス末、クコの実エキス末、マリーゴールド色素、ハルコガネ花果実エキス末、ヤマイモ末、ショウガエキス	肝機能障害	4.医学的に推定	3.全身的症状	1.回復	2007/02/13	通常審議情報	2007/03/28	レベル4(注意喚起)
岡山県	20070008	2007/02/02	2.女性	72	RNA、DNA、SAMENDO(キャッツクロウ)、コエンザイムQ10、ビタミン	ジンマシン出現	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2007/02/03	通常審議情報	2007/03/28	レベル3(要監視)
兵庫県	20070007	2007/02/02	3.不明	73	にんにく、卵黄	下腹部痛	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2007/02/03	通常審議情報	2007/03/28	レベル3(要監視)
兵庫県	20070006	2007/01/31	2.女性 2.女性	68 68	はちみつ シャークリバーオイル(スクアレン)	18年2月ごろより両手、肘関節部、両足、小(紅)丘疹散発。 かゆみ 湿疹難治性	3.医学的に疑い	2.局所的症状	1.回復	2007/01/31	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
青森県	20070005	2007/01/29	1.男性	79	不明 キトサン 黒酢	足がひび割れてつげなくなった(痛み)。 糖尿の悪化かもしれません。	2.不明	1.その他	3.未回復	2007/01/30	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
兵庫県	20070004	2007/01/29	1.男性	88	卵	19日朝連続して3回下痢し、覇気なく、食べれるが普段から少量。	4.医学的に推定	2.局所的症状	1.回復	2007/01/30	通常審議情報	2007/01/31	レベル5(警告・禁止)
長崎県	20070003	2007/01/18	2.女性	70	ノニ(巴戟天・モリンダ)	肝機能障害 GOT42,GPT35,LDH246,ALP396,γ-GTP68	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2007/01/19	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
青森県	20070002	2007/01/16	2.女性	54	香酢		2.不明	1.その他	2.軽快	2007/01/17	通常審議情報	2007/01/31	レベル1(保存)
石川県	20070001	2007/01/10	2.女性	75	擬黒多刺蟻、山伏茸、山芋、サネブトナツメ、黒ゴマ、ショウガ	最近になり舌が荒れるようになった。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2007/01/11	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
岡山県	20060001	2006/11/23	2.女性	66	クロレラ	心原性脳塞栓症発症(左片麻痺、失語症)	5.医学的検証済み	4.重大な症状	5.後遺症	2006/11/24	緊急審議情報	2007/01/31	レベル5(警告・禁止)

「健康食品安全情報システム」事業の要旨

1. 情報の提供

本事業における情報収集は、かかりつけ医からの情報提供に依拠しております。

その対象となる情報は、いわゆる「健康食品」による健康被害の疑いがあるものとし、一般用医薬品による副作用等は対象外です。(トクホや機能性表示食品は対象内です。)

日常の診療を通して健康被害やその疑い事例を覚知しましたら、裏面の情報提供票に記入してご提出をお願いいたします。また、因果関係の判定のため、一緒にメーカー名や商品名のわかる外箱コピーや、患者さんの検査データ等の資料もご提供をいただけると幸いです。(患者名等の記載がないことをご確認下さい。)

2. 情報の整理・蓄積・選択

先生から提供いただいた情報は、まず先生のお名前や医療機関名等を匿名化した上で、本会「健康食品安全対策委員会」において、情報に対する判定を行い、先生にお知らせするとともに、都道府県医師会と情報共有します。

3. 情報のフィードバック・注意喚起等の対応

「健康食品安全対策委員会」での判定を受け、本会は都道府県医師会や会員医師に情報をフィードバックするとともに、必要に応じて行政等と情報共有や対応要請等を行います。また、その重要性に応じて、国民への周知・啓発活動を行います。

※いただいた情報は、本事業以外の目的には使用いたしません。先生や患者さんの個人情報保護についても、本会の規定に基づき万全を期します。健康食品会社等からの訴訟リスクなど、先生にご迷惑がかかることがないよう努めます。

情報提供の方法

以下のご都合の良い方法で情報提供をお願いいたします。

- ①裏面の情報提供票を FAX にて送信
- ②裏面の情報提供票の PDF をメールにて送信
- ③本会ホームページ <http://www.med.or.jp/mshoku/> (メンバーズルーム内の会員限定サイト) にて、情報提供フォームへの入力による情報提供
- ④情報提供票を郵送 (判定結果お知らせ時に切手代を返送いたします。)

送付先 (お問合せ先)

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16

日本医師会 健康食品安全情報システム事業担当

TEL 03-3942-6137 FAX 03-3946-2140

E-Mail shoku@po.med.or.jp

健康食品安全情報システム 情報提供票

年 月 日

※情報提供の際には個人情報保護法へのご配慮をお願い申し上げます。
 いわゆる食中毒の場合は、所管の保健所に食中毒の届出を行って下さい。

1. 必須記入項目

(1) 患者さんの基礎情報

性 別	年 齢	身 長	体 重	妊 娠
男 女	代 半	約 cm	約 kg	有 無

※年齢は「30 代後半」のような記載をお願いします。（個人の識別性の低減のため）

(2) 患者さんの症状など（該当する□に✓を入れてください）

①受診日と発現日	受診 年 月 日 / 発現 年 月 日
②基礎疾患 ・既往症	☐ あり（ ☐ なし（主訴が今回の健康食品による被害） ☐ 不明
③服用医薬品 （基礎疾患等・ OTC 含む）	例・アスピリン 81mg 1 日 1 回 1 錠（12 年 11 月 1 日～●年●月●日）
④今回の症状・ 異常所見・ 診断名等	
⑤-1. 症状等と当該健康食 品との関連性	☐ 健康食品の過剰摂取 ☐ アレルギー（ ☐ 有害成分含有（ ☐ 異物・不純物など品質の問題 ☐ 医薬品との相互作用（効果の減弱、症状の増悪など） （ ☐ 健康食品への過信による治療・投薬の中断 ☐ その他（
⑤-2. 症状等と健康食品と の関連性のエビデンス	☐ 医学的に強く推定 ☐ 医学的に推定 ☐ 関連性が否定できない ☐ 不明 ☐ 関連なし
⑥重篤度	☐ 死亡 ☐ 重篤 ☐ 中等度 ☐ 軽微 ☐ その他 自由記入欄（
⑦経過、転帰	☐ 回復 ☐ 軽快・寛解 ☐ 未回復 ☐ 死亡 ☐ 後遺症 自由記入欄（
以上のご判断に至っ た根拠等	

（書ききれない場合は別の紙を使用して下さい）

(3) 患者さんの摂取健康食品（わかる範囲でご記入ください）

①健康食品名・メーカー名・主な成分・量など	できれば健康食品の説明書きや箱のコピーを FAX 等にてお送りください。
②健康食品の摂取目的・動機	☐ ダイエット・美容 ☐ 健康の保持・増進 ☐ 疾病の予防 ☐ 治療（ ） ☐ 不明・その他（ ）
③健康食品の入手方法	☐ 店頭購入 ☐ （ネット）通販 ☐ 訪販 ☐ 個人輸入 ☐ 不明・その他（ ）
④摂取状況	摂取期間： 年 月 日～ 年 月 日、一日摂取量：

2. その他アンケート（任意）

- (1) その患者さんは、自分をかかりつけ医にしている ☐ はい ☐ いいえ
- (2) 患者さんがその健康食品を摂取していることを知ったきっかけ
☐ 患者さんが自発的に相談したので ☐ 問診票で ☐ 患者さんの症状で
☐ その他（ ）
- (3) 患者さんは、その健康食品を摂取していることを伏せていた ☐ はい ☐ いいえ
- (4) 医師・医学博士や「医師」に類似した肩書きの持ち主が、その健康食品の販売者や推奨者になっている ☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない
- (5) 貴院では問診票で健康食品の摂取を確認している ☐ はい ☐ いいえ

3. 自由記入欄（本情報システムへの質問・意見・要望等も含む）

貴院の名称・医師名	ご連絡先	患者さんの受診診療科
	TEL （メール）	

ご協力ありがとうございました。患者さんの健康食品の摂取前後の検査データ等もお送りいただければ幸いです。お送りいただく際は患者名等は伏せた形でお願いいたします。本事業の目的以外には使用いたしません。また今後、本会より、問い合わせをさせていただく場合があります。

※本会 HP メンバーズルーム（<http://www.med.or.jp/mshoku/>）（日本医師会員の ID、パスワードが必要）から情報提供をすることも可能です。

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業 情報提供のお願い

いわゆる「健康食品」による健康被害は様々な課題があり、診療現場からの情報収集と情報の蓄積、地域医師会や会員医師への情報のフィードバック、国民への啓発活動が重要です。本会では、平成23年4月より、会員の先生方のご協力を賜り、「健康食品安全情報システム」事業を実施しており、これまで多くの情報をお寄せいただいたことに、改めて御礼申し上げます。

本事業は、患者さんからの相談や日常診療で知り得た、健康食品による健康被害情報をご提供いただき、本会において検討の上、対応策等を診療現場に還元して役立ててもらうことによって、かかりつけ医機能を推進することを趣旨としております。

先生におかれましては、本事業へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

来院した患者さんへの問診や相談に応じた際、健康食品による以下の健康被害を覚知したときは、裏面の情報提供票にご記入の上、本会宛に送信してください。

- ①患者さんの症状が、摂取した健康食品と関連する可能性がある、又は関連が否定できないと思われる場合（確証のない、疑いの段階でも結構です。）
- ②患者さんの服用している医薬品と摂取した健康食品との間に相互作用の可能性がある、又は否定できないと思われる場合
- ③宣伝文句を過信した患者さんが、健康食品に依存してしまい、治療や服薬を中断するなどの具体的な弊害が生じている場合

